

令和6年度「スクール・ミッション」と「3つの方針」

長野県下伊那農業高等学校

1 期待される社会的役割（スクール・ミッション）

“命に学び 心を育む”教育をととして、豊かな人間性を涵養するとともに、地域や社会に向き合いながら、農業や関連産業に関する専門的な知識・技術の習得・深化を図り、主体性・協働性・探究心を養うことによって、南信州の持続可能な未来の創り手を育成します。

2 3つの方針

（1）生徒育成方針

- ① 「いのちに触れ、いのちを育み、いのちに学ぶ」教育をととして、生命を尊重する心や豊かな人間性を涵養し、農業を学ぶ中で“自分を育てる力”を育てます。
- ② 「農業を学ぶ」「農業で学ぶ」教育をととして、農業各分野に関する知識と技術を体系的・系統的に身に付けるとともに、思考力・判断力・表現力等を育てます。
- ③ 「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」教育をととして、郷土を愛する態度を育むとともに、地域の課題に向き合い、社会で求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を育てます。
- ④ 「専門的な学び」と「地域での学び」の一体的な学びをととして、実践的な科学性・社会性・指導性を養うとともに、主体的・協働的に取り組む態度や未来に向けて学び続ける姿勢を育てます。

（2）教育課程編成・実施方針

- ① 各教科・科目の基礎・基本を重視し、農業生物の栽培・飼育等の学習をベースに、学科・コースの特色を活かし先進的な専門教育を行います。
- ② 専門的な知識・技術の習得と深化・統合化を図るようカリキュラムを編成し、実験・実習・演習を通じて実践的・体験的な教育を行います。
- ③ 持続可能な社会の構築、情報化・デジタル化の進展、グローバル化・多様性などへの視点から授業改善を図るとともに、地球規模の視野で考え地域から行動するグローバル教育を行います。
- ④ プロジェクト学習や農業クラブ活動などをととして、学びの深まりや広がりに応じ、自ら課題や問いを設定し、問題解決に向けて取り組む主体的・探究的な教育を行います。
- ⑤ ICTを活用した学習、学習状況に応じた習熟度別学習、進路に応じた科目選択制、コース学習やグループ学習をととして、個別最適な学びと協働的な学びを推進する教育を行います。
- ⑥ 南信州を学びのフィールドとし、産学官（地元企業・団体、保育園・小学校・短大・専門学校、行政機関）との連携・協働や世代を越えた交流の機会をととして、社会に開かれた教育を行います。
- ⑦ 実用的な資格取得や産業現場での実習、就業体験や海外異文化体験、ボランティア活動等の多様な機会をととして、望ましい職業観・勤労観を育み、将来のキャリア形成を促す教育を行います。
- ⑧ ホームルーム活動や学校行事、校友会活動、農業クラブ活動、班活動をととして、自立心や自律性を高め、自治の精神を培い、社会性や指導性を育む教育を行います。

（3）生徒募集方針

- ① 植物や動物が好きで、農・食・環境・保育・車・機械等に対して関心をもち、中学校で履修する各教科・科目の基礎学力を有する生徒。
- ② 各学科・コースの専門分野に関心が高く、専門的な知識・技術の習得や資格取得等に対して、意欲的かつ主体的に取り組む生徒。
- ③ 実験・実習などの実践的・体験的な学びに関心があり、自ら課題意識をもち、仲間と話し合い協力しながら、探究的に学ぶ姿勢をもつ生徒。
- ④ 高校卒業後の進路実現に向けて積極的に取り組み、将来、地域の未来を創るために、農業や関連産業を含む地域産業で活躍することを目指す生徒。